

自己評価結果表【タイプA】（乳児院）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		自己 評価結果
運営	① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。		
【判断した理由・特記事項等】		
コロナ禍により従来のように職員による読み合わせや集まっての研修会は出来ていないが、より周知しやすいパンフレットやホームページの作成に向け検討中である。パンフレットやホームページ、年度初めに発行する広報誌にも理念や基本方針を明記し、保護者への配布している。【ホームページ、パンフレット、広報誌】		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己 評価結果
運営	① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
厚労省の職員を講師に招きブロック研修会を開催している。院長が全乳協役員として国の動向を把握した上で岩手県や盛岡市と様々な事業について協議を重ねている。事業計画に現状と今後の予定を踏まえた事業展開ができるよう中長期計画を明示し取組を行っている。入所の動向についてはガイドラインに明記している。【ガイドライン、復命書（児童協・全乳協・ブロック、院長研修資料（R4.4）、県都道府県推進計画、事業計画】		
運営	② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。	○

<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○
【判断した理由・特記事項等】	
基本的に法人、乳児院の中長期計画に基づいた人材計画、採用計画、予算編成をしているが、急な行政の動きにも早急に対応し、事業展開が出来るよう、ある程度見通しを立てて動けるよう国や県の情報を逐一把握するようにしている。自己評価での課題、現状の取り組みについて事業計画に明示し課題改善に向け取り組んでいる。【運営会議録、ガイドライン、理事会議事録、事業計画】	

3 事業計画の策定

	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	自己評価結果
運営	① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
基本的に法人、乳児院の中長期計画に基づいた人材計画、採用計画、予算編成をしているが、急な行政の動きにも早急に対応し、事業展開が出来るよう、ある程度見通しを立てて動けるよう国や県の情報を逐一把握するようにしている。【ガイドライン、法人事業計画、乳児院事業計画】		
運営	② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
基本的に法人、乳児院の中長期計画に基づいた人材計画、採用計画、予算編成をしているが、急な行政の動きにも早急に対応し、事業展開が出来るよう、ある程度見通しを立てて動けるよう国や県の情報を逐一把握するようにしている。特に妊娠SOSとフォスタリング事業については、行政への実績報告の他、日本財団へも実績をあげる事になっているため、多機能化の事業が進んでいくことで、数値での評価が出来るようになる。【ガイドライン、法人事業計画、乳児院事業計画】		
	(2) 事業計画が適切に策定されている。	
運営	① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○

	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
コロナ禍ということもあり、全職員への周知は弱い。多機能化事業を開始することで、数字での実績が表れるため全職員で共有し評価しやすくなる。課題を運営会議で話し合い策定している。【ガイドライン、事業計画、運営会議録】		
運営	② 7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
保護者に対しては年度初めの広報誌に事業計画の内容を分かりやすく記載し配布しているが、他法人の事例も伺いながら保護者へわかりやすい「利用者のしおり」、資料等の準備が必要と考える。【パンフレット、事業計画、広報誌】		

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

	(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	自己 評価結果
養育	① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
自己評価は年1回自己評価を行い、取り組んでいる。養育支援については、各クラスの年間計画のもと取組、評価する体制を整備している。		
養育	② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○	
【判断した理由・特記事項等】		

ガイドラインに明記し、文書化したものを配布する事で周知を図っている。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		自己評価結果
運営	① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
年度初めに広報誌に考えを表明し、関係団体、職員、保護者に配布するとともに、研修会や朝の引継ぎ等において、職員に表明している。組織図等々にも役割、責任を明確にし、運営管理規程、BCPで不在時の権限委任等を明確化している。施設長自らが動いてしまう事が多い為、職員をどのように育成するのか、もう少し経験と技量が必要と感じる。【ガイドライン、広報誌、研修資料(ブロック・子どもの虹)BCP、組織図、運営管理規程】		
運営	② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
コロナ禍という事もあり、職員向けの取り組みが弱くなってしまう。児童協や全乳協の会議、各種研修会に参加し、乳児院の動向について把握し、今後、どうしていかなければならないのかを朝の引継ぎ等で職員に周知している。【ガイドライン、復命書(全乳協、児童協)、業務日誌、運営会議録】		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
運営	① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員(在学的養護共通)の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】		
年2回職員の定期面談を通じて、職員の包括的な現状把握、アセスメント、意向聴取を行っている。各種会議に参加し、収集した情報を朝の引継ぎや運営会議等で話し、体制の評価、分析を行っている。【復命書（児童協、全乳協、ブロック）、運営会議録、事業計画、広報誌、ガイドライン、職員の定期面談、理事会議事録、運営管理規程】		
運営	② 13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設（法人）の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
現場の会議になるべく参加し、直接担当者たちの声を聴くようにしている。また、面談で職員からの意向を聞き、運営会議で改善を図っている。人事に関しては、主任、三役、四役、運営会議等で検討し、職員個々に伝え、体制を構築している。【運営会議録、ガイドライン、理事会議事録、リーダー・保健・運営会議録、全体会議録、復命書（児童協・全乳協）】		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己 評価結果
運営	① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職（有資格の職員）の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設（法人）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
たたき台を院長が考え、それに基づいて、主任、三役会議や運営会議で協議し、事業計画に反映している。必要となる人材については、院長が各種会議に参加し、予算化される事業や配置できる人材を把握し、会議に諮り人材確保に努めている。【ガイドライン、事業計画、スキルアップシート、乳児院紹介DVD、運営会議録、保護単価設定資料】		
運営	② 15 総合的な人事管理が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○
【判断した理由・特記事項等】		

目指す職員像を明記し、ガイドラインに基準を明記している。職員面談を通して、個々の評価を行い、運営会議で話し合い、理事会に諮られている。【ガイドライン、理事会議事録、運営会議録、不適切アンケート、院長面談、事業計画】

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

運営	① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	□職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	□職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	□職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	□定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	□職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	□ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	□改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	□福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

職員それぞれの事情に合わせた、きめ細やかな勤務体制が組み込まれている。定期面談で各職員の家庭や健康の状況を把握し、個々の状態に合わせた就業が出来るように配慮されている。離職率、有給取得率をガイドラインに明記している。【ガイドライン、理事会議事録、運営会議録、諸規程、有給簿、勤務表、復命書（子どもの虹）】

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

主任 副主任	① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	□施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	□個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	□職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	□職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

年2回の院長面接及びスキルアップにおいて、コミュニケーションのもとで、職員一人ひとりの目標を設定し、半年ごとに目標達成度の確認を行っている。

主任 副主任	② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	□施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	□現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	□策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○

	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
基本方針の中に期待する職員像を明示している。初任・中堅・上級・基幹的・施設長と各階級に応じた研修体系を示し、研修を実施している。		
主任 副主任	③ 19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
研修体系を各階級に合わせた研修名を挙げ、職員が研修できるよう配慮している。		
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
主任 副主任	① 20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
養成校からの依頼に応じ、養成校で講師をしている。また、それぞれの専門分野に応じて実習内容を整備し、取り組んでいる。		

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己 評価結果
運営 ① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a

<input type="checkbox"/>	ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の有存在意義や役割を明確にするように努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

年1回ホームページの更新をし、広報誌を年2回、概要を年1回作成し関係機関を含め配布、公開している、【ホームページ、広報誌、概要、関係機関のリンク（県社協、全乳協、妊娠SOS）】

運営

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<input type="checkbox"/>	施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

経理規程、事務マニュアルにルールを定め、必要に応じ理事会で改正を行っている。月1回、税理士の監査を受け、改善を図っている。指導事項については、事業報告に明記し、ホームページでも公開できるようにしている。【経理規程、事務マニュアル、理事会議事録、会部監査綴、業務分掌表、事業報告書】

4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	自己評価結果	
主任 副主任	①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/>	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

地域とのかかわり方について基本的な考え方を文書化している。また、今後、地域コーディネーターが民生委員の集まりに参加し、交流を広めるため、取り組みを行っていく。

主任
副主任

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<input type="checkbox"/>	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>

- 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。
- ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
- ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明文化している。しかし、コロナ禍のため、受け入れは行っていない。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

支援

- ① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。
- 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
 - 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
 - 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
 - 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
 - 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。

b

○

○

○

○

【判断した理由・特記事項等】

コロナ禍であり、職員会議は開催していないが、アセスメントや朝の引継ぎ等で伝え、業務日誌に記して情報共有に努めている。年1回の児相との業務連絡会議を行っている。また、ケースによって関係者会議に参加し、情報共有を行い同じ認識で進められるよう努めている。【業務日誌、関係機関リスト、出張報告書、業務連絡会議綴、出張報告書（関係者会議）】

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

運営

- ① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。
- 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
 - (社会的養護共通)
 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
 - (5種別共通)
 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。

a

○

○

○

【判断した理由・特記事項等】

院長が児童協、全乳協の会議に出席し、乳児院に必要とされる機能、事業を把握し、運営会議で議題に取り上げ地域支援コーディネーターの配置に至っている。また必要とされる事業について、理事会でも議題に取り上げ、事業への理解を得られている。地域支援コーディネーターを民生委員会議に派遣し乳児院の事業について説明する予定となっている。令和4年度には妊娠SOS、フォスターリング事業を実施予定としている。【広報誌、ホームページ、理事会議事録、復命書（児童協、全乳協）】

運営

- ② 27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。
- 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
 - 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
 - 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。

a

○

○

○

- 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
- 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

○

○

【判断した理由・特記事項等】

乳児院に必要とされる事業、支援内容について、地域に還元できるよう運営会議で話し合い、理事会に諮っている。地域の拠点となるよう地域支援コーディネーターを配置し取組を行っていく予定にしている。【広報誌、復命書（児童協、全乳協）、理事会議事録、業務日誌、運営会議録】

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。

自己
評価結果

養育

① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。

a

- 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。

○

- 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。

○

- 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。

○

- 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。

○

- 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

子どもを尊重した養育・支援実施について、職員への理解は各自に任せている。

養育

② 29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。

a

- 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。

○

- 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。

○

- 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。

○

- 保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。

○

【判断した理由・特記事項等】

養育マニュアルの中に子どものプライバシー保護について整備され、職員の理解が図られている。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

支援

① 30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。

a

- 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。

○

<input type="checkbox"/>	施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	見学等の希望に対応している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

保護者の同意のもと、入所してきているが、居場所を明かしていないケースも多く、説明が出来ないまま退所するケースもある。またコロナ禍ということもあり、簡単な説明で終わってしまっている。【パンフレット、業務日誌（保護者への説明）、個人ファイル】

支援	②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/>	保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

意思決定が困難な保護者等の配慮についてもルール化されていない。児相を通す等適宜対応している。【同意書、個人情報開示に関する承諾書、入所時間取り】

支援	③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/>	養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

継続した支援が続けられるよう、子どもの様子や支援内容を文書でわたり、また口頭での説明を行っている。また退所後も相談できる体制を整えており、必要に応じて乳児院から様子伺いの電話を入れ、状況確認を行っている。【慣らし保育プログラム、家族交流プログラム、現在状況報告書、マニュアル】

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

養育	①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	(乳児院)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/>	子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	<input type="radio"/>
(乳児院)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/>	職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	<input type="radio"/>	

<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

倫理綱領などの内容を盛り込んだ自己評価を1か月ごとに実施し、日々の振り返りが出来るようにしている。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

支援	① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

苦情解決に向けた仕組みが確立しており、職員間での情報共有がなされている。コロナ禍であり、保護者等が掲示物に触れる機会はないが、院内に掲示しており、広報誌にも掲載している。年2回のアンケートの実施もしている。【苦情解決マニュアル、報告書、(保護者、里親)、アンケート、広報】

支援	② 35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	

【判断した理由・特記事項等】

現在、コロナ禍で保護者が乳児院内に出入りすることが出来ていないため、掲示物を見る機会はない。また別棟で話し合う機会を設けているが、隔離等で使用している場合には使用できないため、スペースの確保は難しい。

支援	③ 36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

保護者からの思いを聞き出すよう努め、出た意見を職員間で共有、検討し保護者へフィードバックし、解決するように努めている。【保護者アンケート、苦情解決マニュアル】

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

養育

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

インシデントアクシデント報告をクラスで検討し、対応を周知している。

看護

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

感染症マニュアルは適宜更新し、更新した際は、学習会を行ったり業務日誌に綴る。引継ぎ時に発信する等し周知を図っている。感染症が発生した場合には、職員全員に発生の報告と対応についてメールで報告を行っている。対応については、マニュアルを基に検討、実施している。【BCP、年間計画P10、乳児院ガイドラインP20(2)、看護マニュアルP17、コロナウイルス感染症対応ガイドライン、保健係学習会ファイル、コロナウイルス感染症対応の手引き】

主任・副主任

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○

<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

様々な災害状況を想定した訓練を実施している。災害時においても養育支援を継続するために、事業継続計画 (BCP) を策定し備えている。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		自己 評価結果
養育	① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
養育マニュアルに養育支援について、標準的な実施方法が文書化され全職員が周知している。		
養育	② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
養育マニュアルの見直しについては、その都度、改訂を行い職員に周知を図っている。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
支援	① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画の責任者を決めており、計画に沿って進めている。しかし滞ることもあった。課題や目標をクリアできるように月案にリンクさせ、毎月評価している。【自立支援計画票、自立支援会議録、自立支援一覧】

支援

② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容（ニーズ）等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画の見直しが出来ていないこともあったが、しっかり進めて行けるよう体制や仕組みの検討を行い、整え進めているところである。【自立支援計画票、自立支援計画一覧、支援部マニュアル、アセスメント】

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

支援

① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画を基に月案に反映さえ、毎月評価を行っている。又子どもの様子を把握するための書類は統一した様式となっている。ネットワークシステムは設備されていないが、必要な情報は記録に残し、出勤後、目を通す等職員も習慣化している。【身体測定、保育看護日誌、生活記録、支援部マニュアル、自立支援会議録、月案、アセスメント、業務日誌】

主任

② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
-----------------------------	---

副主 任	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもの記録の管理について、責任者を設定し、ガイドラインに明示している。

内容評価基準（22項目）A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養

(1) 子どもの権利擁護		自己 評価結果
養育	① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

毎月の自己評価にて振り返りを行い、子どもの権利擁護に関する取り組みも含め検討する機会を設けている。

(2) 被措置児童等虐待の防止等		自己 評価結果
養育	① A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の観点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

毎月クラス会議にて、不適切なかかわりについて取り上げ、確認できている。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		自己 評価結果
養育	① A3 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
担当養育制のもと、担当養育者とのかかわりを持てるよう、各クラスで個別時間の実施状況を把握している。また特別な配慮な児に対し、心理士の助言のもとかかわり方に十分配慮し、援助している。		
養育	② A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
玩具、食器、衣類等の個別化を図っている。入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握できるよう、アセスメントを行い、子どもの発達を支援する環境を整えている。		
(2) 食生活		
養育	① A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	<input type="radio"/>

一人飲みをさせていない。

生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。

【判断した理由・特記事項等】

栄養マニュアル、養育マニュアルに定め、個々に乳首、量、飲ませ方等、工夫し対応しており、記録も適切に行い共通理解に努めている。

養育

②

A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。

a

在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。

個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。

食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。

嚙む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。

栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。

【判断した理由・特記事項等】

発育、発達状況を踏まえ、給食会議で確認し、養育部と共通理解のもと進めている。食材の大きさ、切り方等、献立予定表に記入し、結果を次に生かしている。

養育

③

A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。

a

食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気でき食事ができるよう工夫している。

子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。

乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。

食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。

養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。

食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと目線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。

日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。

お腹がすくりズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。

栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。

【判断した理由・特記事項等】

毎月15日にはお弁当の日を設けたり、クラスによってはパン作りに参加したりしながら、美味しく楽しく食べられる工夫をしている。

調理

④

A8 栄養管理に十分な注意を払っている。

a

 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。

○

 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。

○

 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。

○

 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。

○

 ささまざまな「食育」への取組を行っている。

○

 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。

○

【判断した理由・特記事項等】

栄養士の指導のもと、栄養管理され、十分なカロリーとバランスの良い献立を提供している。体調不良児についても必要に応じて献立変更がされている。季節の行事食を提供している。衛生管理については、調理マニュアルを基に取り組んでいる。残食調査により、子どもたちの嗜好を把握しながら、献立に繁栄されている。【栄養出納表、献立日報、給食日誌、嗜好調査、残食調査、個別栄養管理簿、給食会議録】

(3) 日常生活等の支援

養育

①

A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。

a

 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。

○

 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。

○

 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。

○

 寝ている生活が主なときほ前開きのものを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。

○

 衣類は個別化し、個人別に収納している。

○

 子どもが好きな衣類を選択できるよう配慮している。

○

衣類係発信のもと、各担当養育者が毎月、サイズ、数量が適当か補充の有無等をチェックし、適切な衣類を提供している。

養育

②

A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。

a

 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。

○

 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。

○

 睡眠時の状況を観察している。

○

 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

15分毎のチェックを行い、SIDS防止に努めている。

養育

③

A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。

a

入浴・沐浴を毎日している。

浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。

乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。

安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。

入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。

【判断した理由・特記事項等】

風呂用玩具を用いたり、声掛け等を工夫したりしながら、楽しく快適に入浴できるように心掛けている。

養育

④

A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。

a

おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。

発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。

発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。

発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。

【判断した理由・特記事項等】

個々の発達段階に応じて、トイレトレーニングを行い、またおむつ交換の際は、心地よさが感じられるようやさしく声をかけながら行う事を心掛けている。

養育

⑤

A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。

a

玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。

戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。

模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。

養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。

子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。

月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。

子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。

【判断した理由・特記事項等】

玩具を個別化している。手作り玩具、知育玩具もあり、遊びを通して様々な刺激や興味等、抱けるように努めている。

(4) 健康

看護

①	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○

【判断した理由・特記事項等】

救急蘇生法を毎月全職員実施し看護マニュアルにも実施手順を明記している。発熱児は熱型表を記録している。【保育看護日誌、看護マニュアルP1、嘱託医健診ファイル、予防接種・乳児健診予定表、インフルエンザ予防接種予定表、受診記録】

看護

②	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

心理士や理学療法士の巡回時に対応の工夫について指導を受け、職員に周知し個別支援や日々の養育に活かしている。病・虚弱児は必要時、専門医を受診し、その結果を嘱託医に報告し連携を図っている。【看護マニュアルP2、服薬管理版、軟膏表、自立支援計画票、受診記録】

(5) 心理的ケア

養育

①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

2か月に1回のペースで臨床心理士に相談を行い、助言をいただいている。また里親交流や施設変更に伴う子どもの対応についてもメールや電話で相談している。

(6) 親子関係の再構築支援等

支援	① A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気大切にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に応じるための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

家族の要望に沿えるように努めながら子どもの成長を感じられるよう担当養育者が日常の様子を電話で伝えたり、写真や手紙を郵送し、親子関係を継続を支援している。コロナ禍であり、直接的な養育スキルの向上に向けた取り組みはできていないが、かかわり方へのアドバイスや疑問、質問に対し解決できるように努めている。【業務日誌、個人ファイル】

支援	② A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

コロナ禍であっても面会方法を検討しながら家族交流が出来るように取り組んでいる。また面会が出来ない時には、手紙や写真の郵送、担当養育者が様子を伝える等で親子関係の継続に努めている。【面会記録、申込書、アセスメント記録、復命書（関係者会議）、入所時アセス】

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

支援	① A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	<input type="radio"/>

児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。

○

【判断した理由・特記事項等】

退所に向けた子どもの負担が少ないよう、家族交流を行い、必要な情報提供も併せて行っている。また退所後、関係機関との情報共有している。【入所後の経過、復命書（関係者会議）、家族交流プログラム】

(8) 継続的な里親支援の体制整備

支援	① A20 継続的な里親支援の体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭的養護を推進し、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。	○
	<input type="checkbox"/> 里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

令和4年度より里専を2名配置することにより、支援内容の充実を図っている。現場の声を基に支援部内でも検討を行い、院内アセスメントへ繋げ積極的に委託推進に努めている。交流からアフターフォローまで丁寧な支援を心掛けている。里親向けの研修の企画や研修会などへの参加協力を通して里親のスキルアップを支援している。【入所児の方向性聞き取り養子、支援部会議録、アセスメント、里親委託推進事業対象となる子どもの名簿、業務日誌、個人ケース、ガイドライン、広報誌、運営会議録、里親交流記録、出張報告書】

(9) 一時保護委託への対応

支援	① A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 入所時の健康管理に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な職種が連携・協同し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

一時保護委託を積極的に受け入れており、入所後も継続して健康管理に努めている。
【支援部マニュアル、入所時アセスメント、個人ファイル、入所時健診】

支援	② A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。	○

<input type="checkbox"/> 入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。	○
<input type="checkbox"/> 受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

緊急一時保護も積極的に受け入れており、入所後も継続して健康管理に努めている。【支援部マニュアル、保育看護日誌、入所時健診、病院受診（PCR）、入所時アセスメント】